

## 文科省政務三役会議でも決定

平成 22 年 8 月 30 日の文部科学省政務三役会議決定でも、競り下げ導入の提言が決定しました。

文部科学省鈴木副大臣をチームリーダーとして文科省内に設置された「予算監視・効率化チーム」が中心となって、予算財政制度の改善について議論を進めました。その結果、改善を図ることがリソースの最大化のために必要との結論を得て、下記を含んだ「予算財政制度の改善に関する提言」をまとめました

### 調達に関する課題への対応

調達手続に費やす膨大な時間を最小化するとともに、教育、研究等に必要な資機材を必要な時期に迅速に調達するため、例えば、政府調達における入札公告期間や対象基準額の自主的措置(アクションプログラム)の見直しなどを提言いたします。

また、より安価な調達を可能とするため、現行の 1 度限りの入札を改め、期間内であれば何度でも入札することを可能とする「競り下げ」方式を導入することを提言いたします。